

1 単元名 江戸幕府の成立と鎖国

2 目標

- 江戸幕府の政治，身分によって異なる人々の暮らし，鎖国下の対外関係に対する関心を高め，意欲的に追究する。  
(社会的な事象への関心・意欲・態度)
- 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係から課題を見だし，江戸幕府の政治の特色を多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現できる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立に関する史料，年表などの様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表にまとめることができる。  
(資料活用の技能)
- 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係を理解し，その知識を身に付ける。  
(社会的な事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は，中学校学習指導要領歴史的分野の目標（４）「身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め，様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。」及び，内容（４）近世の日本イ「江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係などを通して，江戸幕府の政治の特色を考えさせ，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。」を受けて設定した。本単元のねらいは，江戸幕府の政治の特色を考えさせ，幕府と藩による支配が確立したことを，「江戸幕府の成立と大名統制」，「鎖国政策」，「身分制度の確立及び農村の様子」，「鎖国下の対外関係」の学習を通して理解させることである。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は，意欲的に学習に取り組む生徒が多い。しかし，自分の考えをもちながらも進んで発表することができず，受け身にまわってしまう生徒も少なからずいる。また，社会科の学習には消極的な生徒が多く，特に歴史的分野の学習については苦手だと感じている生徒が多い。一方で，班活動で作業したり意見交換する場面を設けると，積極的に協力して取り組むことができる。

○実態調査 (男12人，女16人 計28人 5月28日調べ)

1	社会科の学習で好きな分野は？ 地理的分野 15人 歴史的分野 8名 両方 3名 なし 2名
2	自分の考えや思いをはっきりと発表できますか？ できる 6人 だいたいできる 8人 あまりできない 13人 できない 0人
3	「江戸幕府」について知っていることは？(複数回答) 将軍 8人 徳川家康 7人 鎖国 5人 関ヶ原の戦い 5人 徳川家光 3人 参勤交代 3人 武家諸法度 3人 大名行列 2人 その他

(3) 指導観

本単元では，身分制度の確立や参勤交代制度，武家諸法度の制度など，鎖国以外の政策も用いて江戸幕府が安定した政権づくりを進めたことを，資料の読み取りを通じて考えさせたい。また，「江戸幕府の政治の特色」については，その支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど，それ以前の時代との違いに着目して考察し，自分の言葉で表現できるようにさせる。そして，ジグソー学習を取り入れることで，「受動的に覚える」ことから「習得した知識を活用して考える」ことに結び付けていきたい。

4 指導計画 (5時間扱い)

時	主な学習内容	評価規準
1	○江戸幕府の成立と支配のしくみ①	・関ヶ原の合戦や大阪の陣を経て，豊臣氏から徳川氏へと政権が移ったことを理解し，その知識を身に付けている。 (社会的な事象についての知識・理解)
2 本 時	○江戸幕府の成立と支配のしくみ②	・幕府による大名統制について，大名の種類，武家諸法度，参勤交代の具体例に基づいて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に説明している。 (社会的な思考・判断・表現)
3	○さまざまな身分と暮らし	・農村の風景画，「百姓の心得」や「五人組帳」などの資料から具体的な生活の様子への関心を高め，意欲的に追究して，その特色を捉えようとしている。 (社会的な事象への関心・意欲・態度)
4	○貿易の振興から鎖国へ	・朱印状の意味，貿易航路や相手国，貿易品，日本町について，資料から読み取った内容に基づいて理解し，その知識を身に付けている。 (社会的な事象についての知識・理解)
5	○鎖国下の対外関係	・鎖国下でも交易・交流関係が見られた場所，藩，相手国，品物などを白地図にまとめている。 (資料活用の技能)

5 本時の指導

(1) 目標

徳川氏が長期に政権を維持できた理由を大名統制の視点から考察し、適切に表現することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)

(2) 準備・資料

年表, ワークシート, 発表ボード

(3) 人権教育の視点

・各班における話し合いを通して、友人の意見を尊重して聞き、考え方の多様性に対する受容的な感覚を高める。(価値的・態度的側面)

(4) 展開

※は人権養育に関わる配慮等

学習活動・内容	指導上の留意点及び評価
<p>1 本時の課題を確認する。 江戸幕府が260年も長続いたのなぜだろうか。</p> <p>2 江戸時代が長く続いた理由について調べ、話し合う。 (1) 班ごとに「幕府のしくみ」「大名配置」「参勤交代」について調べる役割を分担する。 (2) 「幕府のしくみ」「大名配置」「参勤交代」について調べる者同士で集まり、調べたことをまとめる。</p> <p>「幕府のしくみ」 ・京都所司代（朝廷の監視） ・勘定奉行（幕府の財政）</p> <p>「大名配置」 ・親藩・譜代・外様大名の位置から…</p> <p>「参勤交代」 ・1年おきに領地と江戸を往復させることで…</p> <p>(3) 班にもどり、分担して調べたことを互いに説明し合い、それらを基に学習課題に対する班の考えをまとめる。 (4) 班ごとにまとめた考えを発表する。</p> <p>3 本時のまとめをする。 (1) 本時の課題に対する個人のまとめを記入する。 (2) 次時の予告を聞く。</p>	<p>・他の時代と比較することで、江戸時代の260年間の長さを実感させるようにする。</p> <p>・3つの視点から考察することを知らせるとともに、班内で分担して調べ、情報交換したことをもちより考えをまとめていくことを知らせることで、学習への見通しをもたせるとともに、意欲を高める。</p> <p>・視点ごとの班で資料を読み取り話し合うことで自分たちの考えをまとめていくようにする。</p> <p>・班ごとに司会者を立て、ホワイトボードを活用しながら話し合いを進めるよう助言する。</p> <p>T2 資料の読み取りに努力を要する生徒には、友人からの説明を聞き、自分の意見をまとめることに役立てるよう助言する。</p> <p>T1 調べる活動が早く終了した班には、新たな資料を提供することで、より深く理解ができるようにする。</p> <p>※相手の話に傾聴できるように、話す相手の顔を見てうなづきながら聞くように助言する。</p> <p>※すべての班の発表ボードを掲示することにより、自分たちと異なる意見があることに気付かせる。</p> <p>⑩ 徳川氏が長期に政権を維持できた理由を大名統制の視点から考察し、適切に表現することができたか。(ワークシート) ・各班から出された意見を参考に、改めて自分の意見を記入することで、本時のまとめとする。</p>